

3

No.575
MAR.2019

茨城経協

Ibaraki Employers' Association

<http://www.ikk.or.jp> Email info@ikk.or.jp

一般社団法人茨城県経営者協会



CONTENTS

01 茨城県との懇談会を開催

「産業政策に関する県政要望」主要6項目について意見交換を交わす

02 県北・県央ブロック会員交流会を開く

前サッカー日本代表監督の西野朗氏を講師に招く

03 茨城大学での寄付講座、全日程を終了

講師をお務め頂いた経営者と大学関係者との懇談会を開催

04 委員会報告

政策／産業政策／環境／経営教育

07 支部だより

常陸・那珂／取手・龍ヶ崎／古河・坂東／鹿行

10 NPO情報Vol.210<横田能洋>

「えんがわハウス物語その1」

11 会員データ変更届

第2回産業政策委員会・茨城県との意見交換会を開催



産業政策委員会（委員長 鈴木康夫氏（株）小松製作所執行役員生産本部茨城工場長）は、2月19日（火）、ホテル・ザ・ウェストヒルズ水戸において、第2回産業政策委員会・茨城県との意見交換会を開催した。

産業政策委員会では、平成31年度の事業活動ならびに平成31年度会員ニーズアンケート調査について協議がなされた。平成31年度事業活動については、9月から10月上旬を目処に「県政要望書」を提出することを前提に、スケジュール化していく事務局案が承認された。また、平成31年度会員ニーズアンケート調査は4月から5月中旬にかけて実施する事とし、アンケート内容を一部修正し、例年の要望と県回答

を踏まえた上で継続性を持って取り組む事とした。

続いて、同日開催された茨城県との意見交換会では、冒頭、鈴木委員長より、本会合の趣旨や県政要望に対する回答についての御礼が述べられた。

次に、小泉産業戦略部長からは、産業戦略部として新知事のもとでの取組みについて説明していただいた後、県の産業施策に理解を示し、ご尽力いただいているとして当協会への謝辞が述べられ、引き続き県内企業の発展を支援していきたいとのご挨拶をいただいた。

意見交換会では、平成30年度産業政策に関する県政要望の中で、会員企業の関心の高い
①雇用確保・人材育成への支援
②科学技術を活用した新産業

育成・中小企業の成長支援

③茨城空港の利便性向上・アクセス良化

④県内港湾の整備促進・利便性向上

⑤県内観光資源を活用した魅力向上と県内外への広報強化

⑥茨城国体・東京オリンピック・パラリンピックの県内経済への波及効果

について当該担当部局の方々より現況および今後の対応等の説明を受けた後、委員からの様々な質問や提言を通じた活発な意見交換が行われ、行政施策についての理解を深めることができた。

最後に、水出副委員長兼会員ニーズ調査部会長（（株）日立製作所日立事業所 総務部長）より、「行政、企業と立場は異なるが、目指すべきは県内経済の発展であることから、これまで以上に連携を強化し、本県発展に繋げていきたい」との閉会挨拶がなされ、散会となった。

今回の県回答書、回答のポイントと評価及び意見交換会の内容については4月上旬の平成31年度会員ニーズアンケート調査の実施と合わせてフィードバックさせていただく予定である。

『組織を激変させるためのコミュニケーション』

前サッカー日本代表監督 サッカー指導者 **西野 朗氏**



加子会長

県北地区支部（支部長 大原弘彰氏（株）茨城サービスエンジニアリング代表取締役社長）、日立地区支部（支部長 館岡司氏 日立埠頭（株）取締役社長）、常陸・那珂地区支部（支部長 柳生修氏 コロナ電気（株）代表取締役社長）、水戸地区支部（支部長 斎藤貢氏（株）水戸京成百貨店代表取締役社長）は4支部共催に

より、2月5日（火）、三の丸ホテル（水戸市）において、県北・県央ブロック会員交流会を開催し、226名の会員企業の皆様にご出席を頂いた。

始めに主催者を代表し、水戸地区支部 斎藤支部長より「本日のブロック会員交流会は、支部の垣根を越え、より広域的に会員の皆様の交流促進の場として例年開催させて頂いている。業種業態の異なる皆様が交流を深め、新たな発見や気づきが得られる有意義な機会となるよう期待している。」との挨拶がなされた。

続いて、加子会長が挨拶にたち、経協事業に対しての会員企業の皆様への感謝の意が述べられた。

併設の記念講演会では、前サッカー日本代表監督 サッカー指導者 西野朗氏をお招きし、『組織を激変させるためのコミュニケーション』をテーマにご講演を頂いた。2018 FIFAワールドカップロシア大会での日本代表のエピソードを中心に、同大会での日本代表の活躍の舞台裏や監督、選手たちのコミュニケーションなどをお話しいただいた。

講演終了後には、100名を超える会員の方にご参加いただき交流パーティが盛大に開催された。講師の西野氏にもご出席いただき活発な会員交流がなされた。



斎藤支部長



西野監督

～講師役をお務め頂いた経営者と 大学関係者との懇談会を開催～



当協会は去る1月31日（木）、茨城大学への提供講座「地域連携論Ⅱ」の全日程を終えた。本講座は、当協会から同大学を含め県内3大学に、キャリア教育の一助とするため提供している「寄付講座」であり、本年度の開講をもって12回目となった。

本年度は、同講座の講師役をお務め頂いた経営者と、講座を担当された大学教職員との意見交換の場を設け、次年度の開講に向けて、より学生にとって有意義な講座とするための改善点等を話し合った。

懇談会では、はじめに加子茂会長が挨拶に立ち「本年度、本

講座にて講師をお務め頂きました経営者のみなさまには、ご多用中にもかかわらずご講演を頂きましたこと、この場をかりて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。また本講座の運営に携わられました大学関係のみなさまにも感謝申し上げます。本日は、講演

を担当頂きました経営者のみなさま、本講座の運営を担当されておられる教職員の方々にお集まり頂き、本講座を更にもっと、学生にとって有益なものとするため、率直な意見交換をお願いしたいと思います。当協会では、県内では茨城大学を含め3大学に同様の講座を設置させて頂いておりますが、本日のように経営者のみなさまと大学関係者が、講座の運営について話し合いの場を持つことは、初めとの試みとなります。次世代を担う若者の育成という地域社会にとって重要な課題に対して、当協会と致しまして、出来る限りご協力させて頂

く所存です。ぜひ本日は忌憚のない、活発な意見交換がなされることを期待して、ご挨拶とさせていただきます」と述べられた。

講師をお務め頂いた経営者からは、以下のような意見が寄せられた。

- ・講義では一方的に学生に話しをしたが、学生と講師（経営者）との双方向のやり取りがあると、より深められるのではないか。
- ・学生にグループ討議のような話し合いの時間を設けても良いのではないか。
- ・学生がどのような話しを期待しているかを予め把握することができれば、より学生の要望に沿った話しができると思われる。
- ・他の経営者がどのようなことを講演しているかを、できれば聴講したかった。

寄せられた意見をもとに大学の運営担当者と協議を行い、次年度も講座を設置していくこととなった。

【30年度、講師をお務め頂いた方々】（敬称略、講演実施順）

| | | | |
|--------|-------------------------------|----------|-------|
| 10月11日 | (一社) 茨城県経営者協会 (株) 日立ライフ・社長 | 会長 | 加子茂 |
| 10月18日 | (株) ヒューマン・ブレンディ | 代表取締役 | 田寺尚子 |
| 10月25日 | (株) 中村自工 | 代表取締役 | 中村弘樹 |
| 11月1日 | 水戸ヤクルト販売 (株) | 代表取締役 | 内藤学 |
| 11月8日 | (株) 成島 | 代表取締役 | 成嶋祐介 |
| 11月15日 | (株) カスミ | 代表取締役社長 | 石井俊樹 |
| 11月29日 | ヤマダイ (株) | 代表取締役 | 大久保慶一 |
| 12月6日 | 憧れ花のアトリエ | 代表 | 池田誠子 |
| 12月13日 | 関彰商事 (株) | 代表取締役社長 | 関正樹 |
| 1月24日 | (株) ユーゴー | 代表取締役 | 沼崎周平 |
| 1月31日 | (一社) 茨城県経営者協会 | 労働企画担当課長 | 後藤泰男 |

政策委員会

春季労使交渉問題への対応および次年度活動の充実について協議



2月4日（月）、水戸市・水戸京成ホテルにおいて第4回政策委員会が開催された。

加子茂会長の挨拶の後、水谷友則副会長（新日鐵住金（株）鹿島製鐵所副所長）が議長となり議事を進めた。

会議では、加藤専務理事兼事務局長より会務の状況が報告され、会員数1,230社に増加、収支も順調に推移している旨の説明があった。

次に、春季労使交渉・協議への基本的な考え方について、事

務局より「日本経済は米中貿易摩擦に起因する海外経済の先行き不透明感が増している。本県においては産業経済、雇用、消費に明るい材料が見られるものの、なお、労働力不足の顕在化などで不透明感を拭えない状況にある。経営側の基本スタンスは、①個別企業の賃金決定は自社の支払い能力が基本、②多様な人材に合わせた柔軟で納得性が高い人事制度構築が必要、③大都市への人口流出を防止するためには、若年者に魅力ある職場づくりが不可欠である」と説明。原案通りの考え方を会員に広報し、連合茨城との懇談会で労働側に理解を求めていくこととなった。

その後、第5回会員満足度調

査と会員増強状況、入会パンフレットについて協議、1,230社に増えた会員の満足度を高める取組み、会員増強に必要なパンフレットや新会員紹介キャンペーンへの理解促進を進めることで承認された。

平成30年度収支決算見込み、平成31年度収支予算案の概要について、「会員増の効果での収支改善による使途について、事業活動の充実、職員の能力開発・自己啓発への援助、産業会館の補修積立などに充てていく」ことが事務局より報告され、了承された。

また、連合茨城から要請が為された①「36(サブロク)の日」記念日への協賛、②長時間労働是正に向けた共同宣言の是非については、労働企画委員会で検討し、3月の政策委員会、理事会に提案していくことで了承された。

産業政策委員会

第2回会員ニーズ調査部会を開催

産業政策委員会（委員長 鈴木康夫氏（株）小松製作所執行役員生産本部茨城工場長）の会員ニーズ調査部会（部会長 水出浩司氏（株）日立製作所日立事業所総務部長）は、2月12日（火）、当協会会議室において、第2回会員ニーズ調査部会を開催した。

水出部会長の開会挨拶後、例年開催している茨城県と産業政策委員会との意見交換会（2月19日開催）および次年度の

活動（案）、次年度の会員ニーズアンケート調査方法について協議検討を行った。

茨城県との意見交換会においては、11月15日に提出した「平成30年度県政要望」にもとづき、会員企業の関心の高い「雇用確保・人材育成への支援」などの観点を中心とした6項目に関する進捗状況

や今後の計画等について産業戦略部を中心に説明していた



だき、それらをもとに意見交換を行うこととした。また、次年度のアンケートでは質問と要望書の項目を関連させ、前年の

要望と回答を踏まえた上で継続的な取り組みが出来る様、修正を行った。
これらの協議結果を踏まえ、

2月19日（火）開催の第2回産業政策委員会にて議案審議を行い、今後の活動を進めていく。

環境委員会

平成31年度 第2回環境委員会、環境行政懇談会を開催



環境委員会（委員長 荒井徹氏 キヤノンエコロジーインダストリー（株）代表取締役社

長）は、1月29日（火）、当協会会議室にて本年第2回目の委員会を開催した。委員会では、本年度の事業活動報告と今後の事業活動計画について協議がなされた。

今後の事業活動では下記のテーマでセミナーを実施していくことを確認した。

委員会終了後には、茨城県県民生活環境部の環境関係各課の課長より、環境行政の重点施策や留意事項について解説をいただく環境行政懇談会が併設された（テーマおよび講師は下記のとおり）。また、懇談会後には、茨城県県民生活環境部長の齋藤章氏および環境関係各課長との交流会も開催し、本県の環境行政の今後の重点施策等について理解を深め、より良い地域環境づくりを目指すために意見を交わし散会した。

【テーマ・講師】

- ①茨城県 環境政策課の概要及び主な施策（PR事項）について
 - ・環境アセスメントの新たな動きと公害苦情の現状について
 - ・茨城県の温室効果ガス排出量の現状について【講師：茨城県県民生活環境部 環境政策課長 阿部哲朗氏】
- ②茨城県 自然環境課の概要及び主な施策（PR事項）について
 - ・イノシシ対策について
 - ・外来生物への対応について【講師：茨城県県民生活環境部 自然環境課長 埜伸一氏】
- ③茨城県 環境対策課の概要及び主な施策（PR事項）について
 - ・第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）開催結果について
 - ・霞ヶ浦流域の小規模事業所に係る排水規制の強化について【講師：茨城県県民生活環境部 環境対策課長 栗田茂樹氏】
- ④茨城県 廃棄物対策課の概要及び主な施策（PR事項）について
 - ・県内のPCB廃棄物処理に係る取組みについて
 - ・優良産業廃棄物処理業者認定制度について
 - ・食品ロス削減について【講師：茨城県県民生活環境部 廃棄物対策課長 松浦浩生氏】



経営教育委員会（委員長 植木誠氏（株）筑波銀行 取締役会長）は、2月13日（水）、県産業会館において「研修企画・運営実務者講座 ～社員を育てるノウハウを学ぶ、社内で活き活きと躍動する人づくりを目指して～」を開催。同講座のねらいとして、社内研修の企画立案&運営スタッフを対象に、社内研修ニーズの把握から企画・

実施に至るまで、研修スタッフに求められる知識・ノウハウについて学ぶとともに、参加企業間の情報交換の場としても活用頂けるよう開催され、36名が参加した。講師には、日本産業訓練協会主幹講師・研修

部長の山口和人氏にご指導頂いた。

冒頭、山口氏より「研修スタッフの基本として、①受講者の人格を尊重、②本当に必要なことを限定し効率的に学ぶ、③研修目的（目標）を明確にする、④本人の興味と関心を喚起して一定のレベル迄到達させる、があげられます。それらを押さえ、業務を遂行していかなけれ

ばなりません」と語り、参加者はグループに分かれケーススタディを通じながら研修は進められた。

参加者からのアンケートでは「今まで社内教育担当として結論が出ずに悩んでいたことが本日の講話を伺い、今後どのように取り組んでいけば良いか多くのヒントを得ることが出来た。受け身にならないよう、社内で良い研修を実施できるよう本日の学びを実践したい」「研修技法の特徴と進めるノウハウについて分かり易く整理頂いたので、とても勉強になりました。またグループワークでは、他社の教育担当者と情報交換できたので良い刺激を頂き、今後の目標がより明確になった」といった意見が寄せられていた。

経営教育委員会

第9期 管理職・リーダーのためのマネジメント講座を開催
本年は“TWI-JI（仕事の教え方）”を学ぶ



経営教育委員会（委員長 植木誠氏（株）筑波銀行 取締役会長）は、1月15日（火）・1月29日（火）・2月18日（月）の3日間に亘り、3回シリーズ「第9期 管理職・リーダーのた

めのマネジメント講座」をホテルレイクビュー水戸にて開催。当研修は例年、日本産業訓練協会の協力を得て、管理職に求められるマネジメント能力についてテーマを変えながら実施してきたもの。今回は“TWI-JI 仕事の教え方(Training Within Industry Job Instruction)”をテーマに開催し、講師は日本産業訓練協会より主幹講師の府川亮一氏に指導頂いた。参加者数は44名。

TWI-JIは、部下への適切な指導方法を習得することを目的としており「知らない、できない、うまくいかない」という状況に部下が陥らないための“正しい教え方”について、参加者が実際に部下に業務を教える実例をもとに、教える側・教わる側に分かれロールプレイを交えながらこれまでの自身の教え方に対し“気づき”を得るスタイルで進められた。

参加者アンケートでは「各参加者の指導実演を通じながら、気づきを得ていくスタイルであり、講師からも適宜指導の

“誤り”を指摘頂くだけでなく、改善策も一緒に探して頂けるので、とても有意義な研修であった。特に自分と業種が異なる

指導実演は“参考にならない”と高を括っていたが、業種は異なれども“人に教え、物事を理解して貰う”本質は共通で

あることを改めて実感する機会となった」との意見が寄せられた。

支部だより

MAR. 2019

Branch office report

常陸・那珂地区支部

製造業向けセミナーを開催



常陸・那珂地区支部（支部長 柳生修氏 コロナ電気（株）代表取締役）は、2月19日（月）、ホテルクリスタルパレスにて「製造業向けセミナー」を開催。“ものづくり現場の教育・訓練革新セミナー～つきっきり教育・訓練の限界を打開し、ポカ

ミス防止～”をテーマに、（株）ロンド・アプリケーションウェアサービス標準化選任講師の大谷みさお氏をお招きし、ご指導頂いた。参加者数は34名。同支部では、支部内会員業種にて製造業比率が高いため、例年製造業を対象にした研修会を開催している。

大谷氏は「ポカミスがなくなる、生産性があがらない、作業標準が守られない等々、現場がなかなか上手く回らないといった課題を抱えている企業は少なくありません。原因として考えられるのが、①雇用

形態の多様化により立場の異なる従業員が増加している、②従来の教育・訓練手法が現在の従業員にそぐわない等があげられ、現場の仕組みを見直さなければなりません」と語り、実務に即した具体的な対策手法について解説頂いた。

参加者からは「人材育成と標準化の大切さを改めて実感したとともに“やらなければならない”と背中を押された気分でした。より実務に沿った対策手法をご教示頂き、本日の講義内容を自社で共有し、課題解決に努めていきたい」といった感想が寄せられた。

取手・龍ヶ崎地区支部

茨城県企画部長 今瀬肇氏との懇談会を開催

取手・龍ヶ崎地区支部（支部長 九鬼理宏氏 キリンビール（株）取手工場長）は、2月7日（木）、キリンビール（株）取手工場において、茨城県産業戦略部長 小泉元伸氏、茨城県営業戦略部長 堀江英夫氏、茨城県政策企画部参事兼計画推進課長 橋本好美氏との懇談

会を開催した。

本懇談会は、昨年11月に新に策定をされた県政運営の指針となる「茨城県総合計画～新しい茨城への挑戦～」についての行政施策を拝聴し、より良い茨城づくりのために産業界



の意見を提案するとともに、行政と企業の相互理解の促進を図ることを目的に開催。

はじめに、開会挨拶で九鬼支部長が挨拶。その後、御三方より、各部署の主要施策等について説明をいただいた後、意見交

換会を行なった。意見交換会では、参加者より「働き方改革の支援制度」や「本県の魅力度向上に向けた取組み」などについての質疑がなされた。

意見交換会終了後には、茨城県産業戦略部長 小泉元伸氏、

茨城県営業戦略部長 堀江英夫氏を囲む交流会も併設し、行政と企業の相互理解を深め散会した。

古河・坂東地区支部

平成30年度 古河・坂東地区支部 支部総会を開催



古河・坂東地区支部（支部長 阪好弘氏 京三電機（株）取締役社長）は、2月6日（水）、古河市「ザ・カナルハウス」において、平成30年度の支部総会を開催した。当日は、加子会長、高橋副会長、澤畑副会長、阪支部長、内藤副支部長、北島

副支部長をはじめ、合計32名が出席した。

当日は、小島幹事長の司会進行ではじまり、開会挨拶では阪支部長が挨拶をし、その後、加子会長が挨拶をされた。

総会終了後には特別講演会として姿勢

科学士・姿勢調整師の道野恵美子氏をお招きし「ケガやミスを防ぐ、体のしくみ・体の使い方～」と題するお話をいただいた。講演内容では、良い姿勢や悪い姿勢、また姿勢が悪いとどのような影響がでてくるかなど、人体模型を用いて解説いただい

た。

道野氏は、大学卒業後、印刷会社、外資系企業を経て、ソニー（株）に勤務。管理職として後進の指導に当たり、国内外を出張で飛び回る仕事を続けながら、姿勢科学・姿勢調整の技術と知識を身につけた。現在では、姿勢科学・姿勢調整を通じた健康支援サービスの提供を行っており、姿勢専科・KCSセンター恵比寿の店長として活躍されている。

講演会終了後には、交流パーティも併設し、会員企業同士の情報交換や名刺交換をするなど懇親を深め散会した。

古河・坂東地区支部

平成30年度 第2回役員幹事会を開催

古河・坂東地区支部（支部長 阪好弘氏 京三電機（株）取締役社長）は、1月24日（木）ホテル山水において、平成30年度第2回役員幹事会（幹事長 小島一文氏 関東通運（株）

総務部次長）を開催した。

はじめに、阪支部長ならびに澤畑副会長が挨拶をし、その後、本年度支部活動報告ならびに会員増強運動の進捗状況等についての報告がなされた。

また、当日は会員満足度調査についても報告がなされ、当支部の会員より具体的なご意見があった要望等を、次年度の支部活動に反映していくことを確認した。



鹿行地区支部（支部長 水谷友則氏 新日鐵住金（株）鹿島製鐵所副所長）は、2月1日（金）、神栖市の鹿島セントラルホテルにて、平成30年度 支部総会を開催し、55名が出席した。

冒頭、水谷支部長より主催者代表挨拶を頂いた後、加子茂会長（（株）日立ライフ 取締役

社長）より来賓代表挨拶を頂いた。

総会では、支部幹事長の藤原利通氏（鹿島石油（株）鹿島製油所 副所長）の進行により進められ、協会重点事業について加藤専務理事兼事務局長より報告がなされた。

併設の特別講演会では、アクロクエストテクノロジー（株）取締役副社長の新免玲子氏より「社員が長くいきいき働ける会社へ～“働きがいのある会社ランキング”1位獲得企業の取り組み～」と題して講演頂いた。

同社は“社員が長く働ける会社”“社員が能力を発揮できる会社”を目指し、新免氏が創業、大胆な職場活性化策や独自の

社風など、マスメディア等でも度々取り上げられ注目を集めており「働きがいランキング1位（2015・16・18）」、「2015年度 第5回日本でいちばん大切にしたい会社大賞審査委員会特別賞」など多数受賞され、同社のマネジメント手法についてお話頂いた。

講演後、新免講師もご臨席のもと交流パーティが行われ、塙秀雄副支部長（鹿島都市開発（株）代表取締役社長）の乾杯挨拶によりスタート、また同支部では支部会員から提供頂いた商品等を出席者の“お土産”としてお持ち帰り頂くとともに、抽選会も行われ大変盛り上がる総会となった。

鹿行地区支部

平成30年度 第2回役員幹事会を開催、次年度事業について意見交換を行う

鹿行地区支部（支部長 水谷友則氏 新日鐵住金（株）鹿島製鐵所副所長）は、1月9日（水）、鹿島セントラルホテルにおいて、平成30年度第2回目となる役員幹事会を開催した。事務局含め16名が出席。

冒頭、水谷支部長より挨拶を頂いた後、支部幹事長をお務め頂いている藤原利通氏（鹿島石油（株）鹿島製油所副所長）の進行のもと、既に実施された事業報告、2/1（金）開催予定の支部総会の進め方についての確認が行われたほか、次年度計画も含めた今後の支部活動についての意見交換が行われた。

心を込めて、信頼できるカーライフ
茨城トヨタ

C-HR



茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 〒310-0851

TEL 0120-090110

<https://www.ibaraki-toyota.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。



えんがわハウス物語その1

茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事 横田 能洋

コモンズは、常総水害後に空き家になった建物の修復や再生に取り組んできました。常総市は水害後に日本人の人口が2年で1割減りました。床上浸水が40～50センチだったとしても、それが4日続けば水が壁裏の断熱材に浸透し1階の床と壁を全部交換することになりました。そのリフォーム代が800万円くらいかかるのに対し、床上1m未満には支援金が出ず、義援金も床上浸水5千世帯で分配したら25万円でした。そのために家の再建をあきらめた人が街を出て行ったのです。常総の復興のためには、この空き家を人が集える場として再生し、そこを拠点に安心できるコミュニティを作る必要があると思い、私は物件探しから始めました。最初の物件は旅館でしたが、借金の抵当に入っていて行政補助が受けられないため断念。次の提供の申し出があった戸建てはボランティアの力で300万円改修し、事務所兼集会所などで活用してきました。今後

はゲストハウスとして活用します。3つ目の物件は50年前に作られた診療所とお医者さんの大きな屋敷です。お医者さんは亡くなられていたためご家族と知り合えたのが水害の1年後でした。当初は使わないので地域に役立つならどうぞとの話でした。そこで、多くのボランティアで荷物を片付け、床や壁の板をはがし、2棟ある住宅の中に入れる状況にしていきました。片付けが終わった所で賃貸契約をと思っていたら状況が変わりました。この土地（500坪）を全部買いたいという方が現れたのです。持ち主は所有権を移したいので購入する方を優先したいとのことでしたので決断を求められました。撤退するか購入するかです。私は購入しますので待ってくださいと申し出ました。広い庭のある屋敷は地域の方が集う場として最適でしたし、周辺に暮らす方々が是非残して欲しいと話されたからです。沢山のボランティアが直してきた家が壊

されるのを見たくないとも思いました。診療所だった建物も人が集っていた場所でしたし、水害でファミリーレストランが無くなって以来、お茶飲み話ができる場が欲しいという声も沢山聞きました。ですので診療所はコミュニティレストラン兼集会所に、住宅棟は住民が助け合い活動をする場として活用できるとイメージできました。

愛知県にある複合施設を見たこともヒントになりました。木の建物にはレストランと庭と小さな保育園があり、そこでは外国籍の人や障がいを持つ人が自然な形で働いていました。このような場を常総でも実現すれば多様な人が仕事ができ、皆が家から出て集まってこられるようになる、そのためにもこの場所は絶対に残そうと思いました。問題は資金をどうするかです。それから2年間の歩みは次回掲載いたします。



屋敷外観



屋敷内の泥出し

貴社、代表者、ご担当者、所在地等に変更がある場合は、下記変更届をご記入の上、事務局までFAXにてお知らせ下さい。

会 員 デ ー タ 変 更 届

(一社)茨城県経営者協会(FAX029-224-1109またはE-mail info@ikk.or.jp)行き

平成 年 月 日

※お手数をおかけして恐縮ですが、ご返信よろしくお願い致します。

※太枠の中のみご記入ください。

発信者:経協事務局()

1. 変更事項 代表者変更 社名変更 住所・TEL・FAX変更

委員変更 支部役員・幹事 その他

2. 内容変更 (旧)



(新)

異動日 年 月 日

新任の方のメールアドレス

※代表者変更の場合、前任者の異動先・役職・退任もご記入ください。

前任者の異動先・役職

3. 担当者

会社名

所 属

担当者氏名

TEL

FAX

※その他、事務局へのお問い合わせ、ご連絡事項がございましたら下記にご記入ください。

[

]

新会員ご紹介 キャンペーン

2019.4.1▶2020.3.31

一般社団法人茨城県経営者協会では、会員の皆様の相互啓発やビジネス交流の活性化ならびに、政策提言力の強化を図るため、会員増強運動に取り組んでおります。お知り合いの方がいらっしゃいましたら、是非お誘いいただき、下記の紹介票にて事務局までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

茨城県経営者協会は企業の持続的な成長と発展のため経営の基盤づくりを行っています

経営者との交流
人脈づくりに努めます

●経営者の異業種交流

商談会などの取引先
開拓の場を提供します

●ビジネスマッチング

後継者の育成を
支援します

●青年経営研究会

行政に企業の声を
伝えます

●県政への要望

労使関係労働問題の
解決を支援します

●顧問弁護士の無料法律相談

地域社会に対して
貢献します

●安全安心なまちづくり運動

人財の育成、
人財の確保を
支援します

●階層別・分野別教育研修・セミナー

会員数
(2019年1月31日現在)

1,230社



一般社団法人 茨城県経営者協会

〒310-0801 茨城県水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11F
TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109
http://www.ikk.or.jp

2019年新会員ご紹介キャンペーン入会見込先紹介票

一般社団法人 茨城県経営者協会 行き FAX 029-224-1109
E-mail info@ikk.or.jp

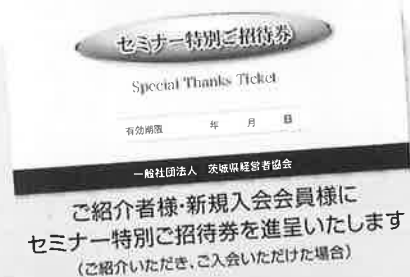
| | |
|-----|------|
| 御社名 | 役職氏名 |
| | TEL |

2019年新会員ご紹介キャンペーンの入会見込み先として、下記のとおりご紹介いたします。

| | |
|--------------|---|
| 紹介先 会社名 | TEL |
| | 連絡方法 <input type="checkbox"/> 直接連絡可 <input type="checkbox"/> ご紹介者経由 |
| 先方担当者(役職・氏名) | 氏名 |
| | 役職 |

※ご記入の上、FAXくださいますようお願いいたします。

今がチャンス!!



協会けんぽ茨城支部 平成31年度保険料率のお知らせ

平成31年3月分（4月納付分）からの保険料率は次のとおり改定されます。

| | | | | |
|--------|------------------------|--------------|----------------------|--------------|
| 平成30年度 | 健康保険料率 | 9.90% | 介護保険料率 | 1.57% |
| | | ↓引き下げ | ↓引き上げ | |
| 平成31年度 | 健康 保険料率 (都道府県ごと) | 9.84% | 介護 保険料率 (全国共通) | 1.73% |

- ◆ 40歳から64歳までの方（介護保険第2号被保険者）は、健康保険料率に介護保険料率が加わります。
- ◆ 変更後の健康保険料率と介護保険料率は、3月分（4月納付分）から適用されます。賞与については、支給日が3月1日分から変更後の保険料率が適用されます。
- ◆ 健康保険料率（9.84%）の内訳は、基本保険料率（6.33%）と特定保険料率（3.51%）です。

なお、協会けんぽの平成31年度の全国平均健康保険料率は、10.0%です。都道府県支部の健康保険料率は、各都道府県の医療給付費等により決定されます。

◀ 保険料率に関するお問い合わせ：029-303-1580（企画総務グループ）▶

4月に届く健診のご案内をぜひご覧ください！

生活習慣病予防健診（被保険者の健診）



- ▶ 対象は35歳～74歳の被保険者さま
- ▶ 補助があるから費用がおトク！
- ▶ 各種がん検診も同時に受診できます！

事業所に1通届きます

特定健診（被扶養者の健診）

- ▶ 対象は40歳～74歳の被扶養者さま
- ▶ 市町村の集団健診や契約医療機関で手軽に受診できます！



ご自宅に届きます

◀ 健診に関するお問い合わせ：029-303-1584（保健グループ）▶

全国健康保険協会 茨城支部
協会けんぽ

〒310-8502
水戸市南町3-4-57 水戸セントラルビル



最新情報はHPをご覧ください
「協会けんぽ茨城」で検索

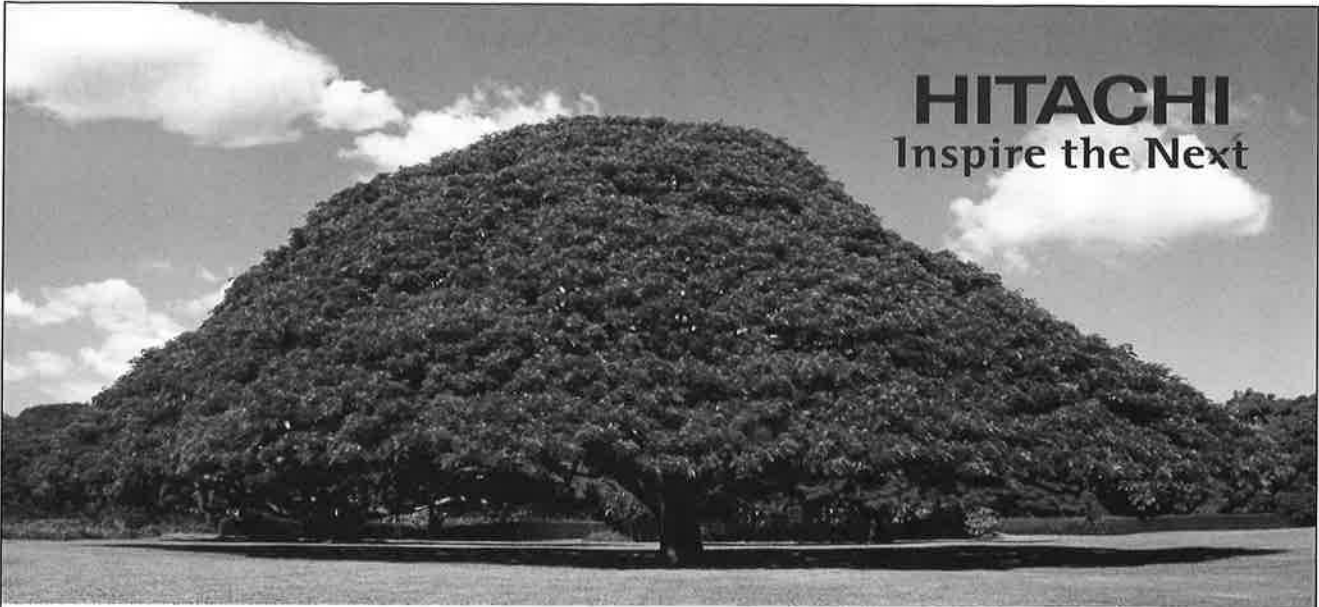


株式会社 カスミ 〒305-8510 茨城県つくば市西大橋599-1
TEL.029-850-1850

KASUMI

<https://www.kasumi.co.jp/>





HITACHI
Inspire the Next

次の時代に、新しい風を吹き込んでいきます。

時代はいま、新しい息吹を求めて、大きく動きはじめています。

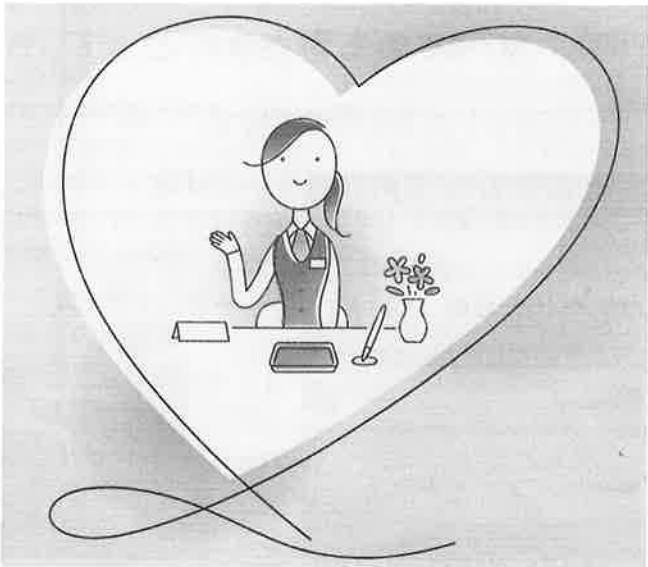
今日を生きる人々がいつも元気でいられるように、明日を生きる人々がいつもいきいきとしていられるように。

日立グループは、人に、社会に、次の時代に新しい風を吹き込み、豊かな暮らしとよりよい社会の実現をめざします。

日立の樹オンライン www.hitachinoki.net

株式会社 日立製作所 日立金属株式会社 日立化成株式会社 日立建機株式会社
株式会社 日立ハイテクノロジーズ 日立アプライアンス株式会社 日立オートモティブシステムズ株式会社

人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたにも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。



キャリア人材バンク登録のおすすめ

生涯現役社会の実現に向けて、高齢者の就業を支援します。



● キャリア人材バンクに登録するには ●

事業主経由での登録の場合

事業主様を通じて
下記、事務所へご相談ください

対象者

60歳以上の在職者の方で

- ・雇用契約期間満了(※)後に再就職を希望する

※定年、継続雇用終了、有期雇用契約期間満了により離職する場合をいいます

個人登録の場合

下記、事務所までお電話ください
(ご来所スケジュールの調整をします)

対象者

60歳から65歳の誕生日までの方で
下記のいずれかに該当する方

- ・在職者で再就職を希望する
- ・離職者(※)で再就職を希望する

※本事業の離職者とは離職後1年以内の方をいいます

担当者が登録に必要な書類の作成や再就職のお手伝いをいたします

- ・キャリアシート作成の支援(履歴書・職務経歴書・職務能力記述書)
- ・キャリアカウンセリング・講習等の実施他



V.300401

公益財団法人 産業雇用安定センター

茨城事務所 水戸市城南1-1-6 サザン水戸ビル4階

☎: 029-231-6044

FAX: 029-233-3602